

- 1 室町時代、細川氏が実権を握り、明との間で行われた貿易を何という？

- 2 応仁の乱以降、浄土真宗（一向宗）の信仰で結びついた農民や武士が団結して守護大名を倒し、自分たちで地域を治めた動きを何という？

- 3 観阿弥・世阿弥の父子を保護し、能が芸術として大成する後ろ盾となった室町幕府の第3代将軍は誰か？

- 4 禅宗の影響を受けて発展した、石や砂などで山水を表現する東山文化を象徴する庭園様式は何？

- 5 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？

- 6 室町時代に惣村で村の運営のために行われた、住民による話し合いの集会を何という？

- 7 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代将軍は誰？

- 8 室町時代、銀閣が建立された頃に京都を主戦場として起こっていた大規模な内乱を何という？

- 9 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？

- 10 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

- 11 15世紀に沖縄本島を統一し、琉球王国を建国した人物は誰ですか？

- 12 室町文化において、武士の精神に大きな影響を与え、水墨画や書院造の基礎となった教えを何という？

- 13 琉球王国が中継貿易を行う上で、最も重要な窓口となっていた当時のアジアの大国を何という？

- 14 室町時代、農民たちが借金の帳消しを求めて、高利貸などを襲撃した出来事を何という？

- 15 室町時代、幕府が債務者の借金を帳消しにするために出した法令を何といいますか？

- 16 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？

- 17 尚氏が沖縄本島を統一し、琉球王国を建てた時期はいつ頃？

- 18 1428年に正長の土一揆が初めて発生した場所はどこですか？

- 19 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？

- 20 室町時代、農民たちが「寄合」を通じて村の運営を独自に行うようになった村の組織を何というか？

- 21 浄土真宗の信仰で結びついた武士や農民が、加賀国で倒した守護大名は誰ですか？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	足利義満が開始した <u>勘合貿易</u> は、明の皇帝が発行した証明書である「勘合」を所持した船のみが貿易を許可される仕組みです。		<u>勘合貿易</u>	☐
2	<u>一向一揆</u> は、浄土真宗の強い信仰で結ばれた民衆が指導者のもとに組織的に戦ったものです。		<u>一向一揆</u>	☐
3	義満は、観阿弥・世阿弥の父子による猿楽（能）の才能を高く評価し、強力な後援者となりました。		<u>足利義満</u>	☐
4	<u>枯山水</u> は、池や川などの水を用いず、白砂や石の配置によって、山水の風景や海、大自然の深淵さを表現する庭園様式です。		<u>枯山水</u>	☐
5	「 <u>下剋上</u> 」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。		<u>下剋上</u>	☐
6	「 <u>寄り合い</u> 」は、村の運営に関わる重要な事項を決定するための集会です。		<u>寄り合い</u>	☐
7	<u>足利義政</u> は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。		<u>足利義政</u>	☐
8	1467年に始まったこの戦いは、全国の守護大名が東軍・西軍に分かれて戦ったため、日本全土に広がりました。		<u>応仁の乱</u>	☐
9	宋から輸入された「 <u>宋銭</u> 」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。		<u>宋銭</u>	☐
10	<u>二条河原の落書</u> は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。		<u>二条河原の落書</u>	☐
11	中山の王であった <u>尚巴志</u> は、優れた軍事力と外交手腕を駆使し、1429年に沖縄本島を統一して琉球王国を建国しました。		<u>尚巴志</u>	☐
12	<u>禅宗</u> は、単なる宗教だけでなく、茶の湯や華道、水墨画などの芸術にも強い影響を与えました。		<u>禅宗</u>	☐
13	<u>中国</u> から手に入れた陶磁器や絹織物などを、日本や東南アジアへ運ぶことで、東アジアにおける物流の要所としての役割を果たしました。		<u>中国</u>	☐
14	<u>土一揆</u> は、主に農民たちが団結して、高利貸しである土倉や酒屋を襲撃し、借用書を破棄させるなどして借金の無効を訴えた運動です。		<u>土一揆</u>	☐
15	<u>徳政令</u> は、借金の免除を命じる法令のことです。		<u>徳政令</u>	☐
16	寺社はその権威と安全性を背景に、参拝者が集まる門前や街道の要所に <u>定期市</u> を開かせました。		<u>定期市</u>	☐
17	<u>15世紀</u> に入り、尚巴志が各地の勢力を平定して沖縄本島を統一し、琉球王国を建国しました。		<u>15世紀</u>	☐
18	1428年に <u>近江国</u> （現在の滋賀県）の馬借らが蜂起したのが正長の土一揆の始まりです。		<u>近江国</u>	☐
19	「 <u>土倉</u> （どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。		<u>土倉</u>	☐
20	<u>惣村</u> は、村人が共同で地主や守護大名に対抗するための組織でした。		<u>惣村</u>	☐
21	当時の加賀国では、守護大名の <u>富樫政親</u> が教団の勢力を抑えようと対立を深めました。		<u>富樫政親</u>	☐

言えなかった用語ノート